

現代社会の特色

現代社会を捉える枠組み A

 7分

1. 右の資料Ⅰ・Ⅱはそれぞれ、ある法律の一部である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

(1) 資料Ⅰについて、次の問いに答えなさい。

① この法律を何というか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本国憲法
- イ 教育基本法
- ウ 民法
- エ 男女雇用機会均等法

資料Ⅰ

第752条 夫婦は同居し、互いに協力し扶助しなければならない。

第818条① 成年に達しない子は、父母の()に服する。

資料Ⅱ

前文 (前略)男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、^{きんよう}緊要な課題となっている。(以下略)

[1]

② ()にあてはまる、「親が自分の子を^{かんとく}監督する権利や義務」を意味する語句を答えなさい。

[2]

(2) 資料Ⅱの法律が目指していることとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 男は外で働き、女は家事を行う社会を築くこと。
- イ 男女が責任を担い協力すること。
- ウ 個人より「家」を重んじる考えを尊重すること。
- エ 企業が採用や昇進で男女を等しく扱うこと。

[3]

2. 社会集団が効果的で長続きするルールを作るために大切なことを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 関係なさそうなことも盛り込んで、内容を多くする。
- イ 代表者が自分の考えだけで決める。
- ウ 利害が対立する人どうしが合意できる内容にする。
- エ 一度決めたルールは絶対に変えない。

[4]